

福生三中だより

令和5年12月1日発行 No.9
福生市立福生第三中学校

学校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
- 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒

校訓 礼節



感謝と、幸せと

校長 植村 多岐

今年のカレンダーも最後の1枚となりました。締めくくりということからも、今回は生きる上での見方・考え方の一つの例を紹介します。

先日、新聞の本の紹介欄で【人生の目的、それは「幸せ」】とあり目が留まりました。そこで皆さんは、【今、幸せですか。】と、問われたら何と答えるでしょうか。そもそも「幸せ」とはどういう状態を指すのでしょうか……。ある人は「幸せ」とは満足した状態。「満足感」と言い、「満ち足りていて、もうこれ以上欲しいものはない。もうこれで満足」という状態を「幸せ」と言う人もいます。本当にそうなのでしょうか。

例えばベッドで大の字で寝る。「ああ、幸せ」と思う。しかし、10分も経てば寝てしまっていて幸せ感は長続きしません。例えば温泉旅行。お風呂に入って「ああ、いい湯だな！幸せ！」と思う。しかし、30分も入っていたらおぼせてしまっていて満足感は長続きしません。メーテルリンクの童話「幸せの青い鳥」は、青い鳥を苦勞して探したけれど、実は、自分の家の中にいた。という話です。「幸せ」は一度手に入れたら無くなる物体・固形物みたいなものと錯覚を起こしがちですが決してそうではない。幸せは心が判断し目に見えないもの。だから、難しい。だから、長続きしないようです。

それでは、「幸せ」を長続きさせるにはどうすればよいのでしょうか。実はその方法の一つだけあるそうです。それは「感謝」することです。身の回りで「感謝」できることを見つける。そうすれば、ずっと「幸せ」でいられる。いつでもどこでも、「幸せ」でいられるそうです。例えば私達の手足は動きます。聞こえる。見える。喋れる。ごはんが食べられる。ありがたいことに、身の回りには、「感謝」できることがいっぱいあります。

そして、「感謝（ありがとう）」の反対は何でしょう。それは「当たり前」だそうです。

身の回りには感謝できることがいっぱいあるのに、それが「当たり前」と思っていると、「幸せ」にはなれません。感謝できることがいっぱいあるのに、それを見ないで不満ばかり探していると、その人は決して「幸せ」にはなれません。このことは大人も子供も関係のない、生きる上での重要な見方・考え方の一つです。

今日から最後の月。12月に入ります。本年を振り返って「世の中は厳しい！物事は上手く行かないことの方が多い！」と思った人もいるのでは……。そんな人は壁を乗り越えようと努力した成長の証です。来年はその努力に加え「感謝」し「幸せ」を感じながら生きることを増やしてみる。「感謝」の心が謙虚さを生み、学生にとって必要な学ぶ姿勢にもつながります。【感謝と幸せと】皆さんが一生「幸せ」であることを願って！

(参考文献「美輪明宏の言葉」より)

バレーボール部

第8ブロック新人大会 第3位

都中学校バレーボール大会 出場

福生市民総合体育大会中学生バレーボール

おめでとう!

おめでとう!

優勝 おめでとう!

野球部

第8ブロック野球秋季大会 第2位

都中学校野球秋季大会

ベスト32

おめでとう!

おめでとう!

バドミントン部

福生市民総合体育大会バドミントンダブルス

江崎 月渚さん 第2位

古谷 萌果さん

第3位

おめでとう!

剣道部

羽村市民総合体育大会 中学生女子の部

森園 琴音さん 優勝

おめでとう!

羽村市護国神社大会 中学生男子の部

森園 祐希さん 優勝

中学生女子の部

森園 琴音さん 優勝

福生市民総合体育大会 中学2, 3年男子の部

田倉 鳳貴さん 第2位

森園 祐希さん

第3位

中学2, 3年女子の部

朝倉 由愛さん 第3位

中学1年女子の部

森園 琴音さん 優勝

田村 仁衣菜さん 第3位

七五三挨拶運動

11月10日(金)に今年、2回目となる七小・五小・三中・地域のボランティア・CS委員と連携し、伝統の挨拶運動を行いました。



地域ボランティア

11月18日(土)老人会のお手伝いで学校の近くの富士見公園で有志生徒22名と教員で、落ち葉掃き・草むしりを行い、お年寄りと一緒に楽しいひと時を過ごすことができました。

